

# 朝日湯

Asahi-yu  
(東京都台東区)



外観

JR 山手線を日暮里駅で下り、西日暮里側の西口へ出る。しばらく歩くと独特のディープな雰囲気を持った通りが現れる。「ひぐらしの里 谷中ぎんざ」だ。突き当りを左折して「よみせ通り」に入り、千代田線・千駄木駅へ通ずる「三崎坂」を少し左へ行くと、今回紹介する朝日湯に到達する。日暮里駅からは徒歩 10~15 分かかるが、千駄木駅からは徒歩 2 分の近さだ。

朝日湯は見ての通りの古い銭湯である。最近改修の手が加えられ、フロントとロビーが設けられた銭湯になった。ロビーには新しいマッサージ椅子 1 基と、マッサージ用のベッド 1 台、さらにはオムロンの「バイブマッサージャ HM-110」1 個が置いてある。「バイブマッサージャ HM-110」は無料で利用できる。

脱衣室にはロッカーが 46 個。朝日湯はロッカーだけでなく、下駄箱も真新しく清潔感がある。下駄箱は通常銭湯によくある古い下駄箱より一回り大きいので、靴の出し入れがしやすい。

浴室は少々奥行きが狭いが、天井が高い典型的な古い銭湯の構造だ。ただ、上部の内壁仕上げに使われているのは木の板ではなく、プラスチックになっているようだ。

洗い場は 21 か所。他にシャワーブースが 1 か所ある。浴槽は気泡のある浅風呂、2 人分の座風呂 (SUS 製冷枕付)、薬湯だ。いずれも温度計が 45℃を示しており、かなり熱い。

朝日湯では、薬湯は天然ものにこだわりがあるらしい。本日の薬湯は、表示こそなかったが多分一般的な「じっこう」であろう。

壁画はないが、大きなタイル画がある。男湯側はヨーロッパの古城。女湯側は良く見え

なかったが南国風の絵であった。

入浴後にロビーでオムロンの「バイブマッサージャ HM-110」を試してみる。使い方が良く分からなかったが、首にあてると肩こりに効きそうだった。腰に対してどのように使うのかは不明だったが、うまく使えば効果がありそうだ。帰ってから調べてみたらアマゾンでわずか 2,200 円の商品である。こんな素晴らしい商品をこの価格で作ってしまう日本企業は、本当にすごい。

帰路も谷中ぎんざへ。雰囲気は全くマッチしない西野カナのヒット曲が BGM で流れている。酒屋の前では立ち飲み客。やきとり屋の前には行列。朝日湯の常連が履いていた下駄は、この店で売っていたのかと思われる履物屋。そして、谷中ぎんざのエントランスにある有名なパルシャ料理店・ザクロ。ここの店長は陽気に客をいじめることで有名だ。これらすべてがディープな街を彩る個性あふれる店だ。外国人観光客もそこらじゅうにいる。日本人が見ても異様な雰囲気はこの街は、彼らにはどう映っているのだろうか。

実は週明けから海外出張である。銭湯もしばらくお預けだ。朝日湯は「いっといで！」と私を送り出してくれたように思えた。梅雨時とは思えないすがすがしい空気に包まれながら、このディープな街を後にした。

- **名称**：朝日湯
- **所在地**：東京都台東区谷中 2-18-7
- **電話**：03-3821-5849
- **営業時間**：14：00～25：30（日曜日は 10：00～24：30）
- **定休日**：無休
- **入浴料**：大人 450 円、中人（6 歳以上 12 歳未満）180 円、小人（6 歳未満）80 円、サウナ追加料金 200 円
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013 年 5 月 31 日（金）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部